

実践『ペルソナ』通信 (No. 96)

「通学用バッグ」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「通学用バッグ」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査結果から、通学用バッグとして白やベージュ系のトートバッグまたは黒のリュックを使用している人が多いことがわかりました。トートバッグのプリントの様子は様々で、リュックは赤いロゴが入ったものが多くみられました。布素材のものが多かったですが、中には革素材のものもありました。サブバッグは全体的にサイズが小さいものが多く、中でも厚みのある紙袋でロゴが入っているものを使用している人が多くいました。バッグは洋服に合わせやすい色でシンプルな見た目でありながらも、細かいところに個性が現れるものであることがわかりました。

調査結果のポイント

(1) 最も使われる種類はトートバッグで色は白やベージュ系が多い

多数がトートバッグを使用しており、白やベージュ系の無難な色が多くみられました。シンプルで無難な色を選択しているのは、洋服に合わせやすくするためだと考えられます。バッグのサイズ感は A4 サイズ以上の内容量大きいバッグがほとんどでした。

(2) リュックは黒で赤いロゴが入っているものが多い

リュックは黒が最も多く、ロゴが入っているものが多くみられました。ロゴはブランド名が入っているものが多く、特に赤い囲いのデザインが施されたものが多かったです。

(3) 「トートバッグ」のプリントの様子は様々

トートバッグのプリントは様々であり、英字のロゴが入ったもの、キャラクターのプリントなど様々なデザインがみられました。白色やベージュがベースとなっているのは同じですが、それぞれ違った模様とデザインのバッグを使用することで個性を出していました。

(4) 革素材もいる

布素材の多かったトートバッグ・リュックの中でも、革素材のバッグを使用している人もいました。

(5) サブバッグは紙袋が多い

サブバッグは紙袋が多かったです。特に化粧品や洋服のブランドの厚みのある丈夫な素

材の紙袋が多くみられました。

(6)サブバッグは小さいものが多い

サブバッグはメインバッグよりも小さいものが多くみられました。またバッグの種類も紙袋やショルダーバッグ、トートバッグなど様々な種類が使用されていることが分かりました。メインバッグとしてはほとんど使用されていなかった小さいショルダーバッグも、サブバッグとしては多く使用されていました。

調査概要

- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：スノーボールサンプリングによる対象者の写真提供
- 調査期間：2020年7月
- 調査場所：ウェブ

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 菅原七菜、立石朋子、松浦彩里、和氣なつみ

写真

【メインバッグ トートバッグ 白・ベージュ系】





【メインバッグ トートバッグ その他】



【メインバッグ リュック 黒】



【メインバッグ リュック その他】



【メインバッグ ショルダー】



【サブバッグ 紙袋・ショップバッグ】





【サブバッグ トートバッグ】



【サブバッグ ショルダーバッグ】



調査後記

今回の調査を通じて、トートバッグを利用する人が圧倒的に多いことがわかりました。新型コロナウイルスの影響で学校に赴くことができず直接調査できなかったため、アンケートと写真の提供に協力していただけるとは気がかりでしたが、快く対応してくださったことで、調査票では見えなかった共通点を発見できました。また、対面での相談ができないうちで調査票の作成を行う不安もありましたが、無事に報告書を完成させることができ良かったです。今回学んだ経験を今後に生かし、より良い調査と分析ができるよう精進します。

改めて調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。